

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年9月1日

喫煙者は新型コロナ感染で重症化しやすい：
バイオマーカー測定の意味

【松崎雑感】

新型コロナ患者の検査値異常と、喫煙者の検査値異常に共通する項目が多いという調査結果から、タバコを吸うと、新型コロナで重症化するおそれが高いという論文です。

タバコとコロナの関係で、このような論文が「しつこく」出されるのは、感染者に喫煙者が少ないという疫学データが相変わらず出ているからだと思います。

スモーカーズ・パラドックスの問題は、調査方法自体がはらむバイアスによるものであるという事で基本的に解決されていますが、なかなか払拭しがたい面もあります。

「タバコ×コロナ＝重症化」をお忘れなく。

喫煙者は新型コロナウイルス感染で重症化しやすい： バイオマーカー測定の意味

Çetin Kargin N (Department of Family Medicine, Konya Numune Hospital, Konya, Turkey.). **The effect of smoking on COVID-19-linked biomarkers in hospitalized patients with COVID-19.** **J Clin Lab Anal.** 2021 Aug 31:e23983. doi: 10.1002/jcla.23983. Epub ahead of print. PMID: 34463387.

背景

喫煙は新型コロナウイルス感染のリスク因子だが、その機序は明らかになっていない。入院患者における喫煙と血液生化学的マーカー（リンパ球数、好中球数、血小板数、好中球/リンパ球比[NLR]、血小板/リンパ球比[PLR]、炎症マーカー、生化学マーカー）との関連を検討して、メカニズムを明らかにする。

方法

2020年6～8月に新型コロナ病院に入院した18歳以上の200名について諸検査を行った。

結果

喫煙者は男性に多かった(91.5%対8.5%)。好中球数は現在喫煙者と過去喫煙者で有意に増加していた。

NLRとフェリチンも生涯非喫煙者より有意に増加していた($p=0.008$ 、 $p=0.004$)。

酸素飽和度はNLR、PLR、喫煙指数と有意な負の相関を示した。生涯非喫煙者と比較して、現在喫煙者の好中球数、NLR、CRPは有意に増加していた。

結論

新型コロナウイルス感染者の予後は、好中球数、NLR、フェリチンが高いほど悪化することが分かっている。現在および過去喫煙者ではこれらの指標が生涯非喫煙者より高かった。

喫煙が新型コロナウイルスの予後を悪化させることがさらに明らかとなった。